

事業番号	事務事業名	おかやま子ども応援事業費			所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊	
05940	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	平田 誠
	施策名	33	青少年の健全育成			根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	<p>おかやま子ども応援事業として下記2分野に取り組んでいる</p> <p>①学校支援地域本部・・・学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子育てをする体制を構築し、地域住民が学校を支援する(授業、環境整備、見守りボランティアなど)</p> <p>②放課後子ども教室事業・・・すべての子供を対象に、地域の方々の参画を得て、放課後に学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会(居場所)を提供する</p>	<p>平成22年度から国及び県の補助事業「放課後子どもプラン推進事業(平成23年度から「おかやま子ども応援事業」)として実施。</p> <p>おかやま子ども応援事業のうち、学校支援地域本部事業を平成25年度より開始。</p>

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 小学校児童	→ ア 小学校児童数	人	見込 実績	640 640	656 659	659 659	661	661
イ	→ イ		見込 実績					
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 学校の教育活動を支援する	→ ア 学校支援地域本部事業参加校	校	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 7 116.7%	7 7 100.0%	7	7
イ 子どもの社会教育活動を支援する	→ イ 放課後子ども教室延べ参加者数	人	目標 実績 達成率	700 618 88.3%	700 566 80.9%	700 315 45.0%	400	450
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア おかやま子ども応援事業補助金	→ ア 補助金交付決定回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業 中事業					事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		04 01						
	おかやま子ども応援事業費													05940	
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	460	490	373	320	320	-117	県支出金	356	431	373	320	320	-58		
町債							町債								
その他特財	50	50	50	50	50		その他特財	50	50	50	50	50			
一般財源	606	619	608	600	600	-11	一般財源	308	453	308	600	600	-145		
合計	1,116	1,159	1,031	970	970	-128	合計(A)	714	934	731	970	970	-203		
財源名称	おかやま子ども応援事業費補助金						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	社会教育学級受講料						延べ業務事務時間	261	240	200	200	200	-40		
							人件費計(千円)(B)	883	840	669	670	670	-171		
	最終予算額		1,031 千円		予算執行率	70.9%		トータルコスト(A+B)	1,597	1,774	1,400	1,640	1,640	-374	
主な支出事業内容(予算)	報償費				445 千円				主な支出事業内容(決算)	報償費				202 千円	
	需用費				290 千円					需用費				273 千円	
	役務費				250 千円					役務費				213 千円	
	使用料及び賃借料				2 千円					使用料及び賃借料				2 千円	
	委託料				40 千円					委託料				40 千円	

事業番号	05940	事務事業名	おかやま子ども応援事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
共働き家庭や母子・父子家庭の増加、また、核家族化が進む中、昼間家に保護者がいない家庭が増えている。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
各地区の公民館長がコーディネーターとなり、地域ボランティアの確保が出来ている。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
子どもたちの放課後の居場所として定着しており、今後も継続してほしいという意見がある反面、参加者数の減少が著しい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	小学校児童の放課後等の居場所を確保し、多様な活動機会を提供することは、児童の安全の確保と地域の教育力の向上及び健全な人間形成に役立つ。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	児童の安全の確保、教育力の向上と青少年の健全育成を図るためには、活動の場(居場所)の確保が必要であり、税金を投入して行うべきものである。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	学校によつての事業に対する温度差があるため今後考える必要がある。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	町の実状としては、指導者の高齢化、少子化による参加児童の減少により、教室自体がなくなる地域も出てきている。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	参加人数が減っているのが実状であるが、放課後子ども教室を廃止すると、児童の居場所がなくなる。また地域との繋がりが希薄になり、豊かな人間形成を構築する場が失われる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	より効果的な活動が出来るように地域の理解・協力が必要である。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最低限の事業費で活動しており削減の余地はない。放課後子ども教室の材料等は原則受益者負担としている。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	2つの事業(学校支援地域本部、放課後子ども教室)を実施しており、必要最低限の人数であり削減は難しい。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	指導者不足・地理的事情等で放課後子ども教室を実施できない学区もあり公平であるとは言い難い。放課後子ども教室の材料等は原則受益者負担としている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和2年度はコロナウイルスの感染拡大を防ぐため、従来の外部教師や事業の大部分が縮小された。それに伴い、3年度は岡山県からの補助金もカットの予告もされている。また、異動等による学校の事業に対する温度差が見えているため今後検討の必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 今後町内の学校に対し事業の必要性等を調査していく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
特になし。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							